中会公告第 690 号
平成２４年 １２月 １８日

公　　　告

分任支出負担行為担当官 陸上自衛隊
中央会計隊 契約科長 菅 谷　　誠

分任支出負担行為担当官陸上自衛隊中央会計隊契約科長印

一般競争入札の実施について下記のとおり公告する。

1. 競争入札に付する事項
   (1) 件　名 : 銀杯(純銀製)及び附属品一式並びに紙筒
   (2) 数　量 : 80組
   (3) 納　地 : 中央業務支援隊
   (4) 納　期 : 平成25年2月28日
   (5) 規　格 : 仕様書のとおり

2. 競争に参加する者に必要な資格に関する事項
   次の各項目のすべての条件を満たす者
   (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
   (2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
   (3) 平成22・23・24年度、競争参加資格(全省庁統一資格)「物品の製造」又は「役務の提供等」でD等級以上に格付けされ関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者。
   (4) 契約担当官等から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

3. 契約条項等を示す場所
   陸上自衛隊 市ヶ谷駐屯地 中央会計隊契約科 事務室

4. 入札説明会及び競争入札執行の場所及び日時
   (1) 入札説明会 : 実施しない
   (2) 入　札
      ア 場　所 : 中央会計隊教場兼入札室 (E1棟6F)
      イ 日　時 : 平成25年1月10日 (木)　14時30分　から

5. 保証金等に関する事項
   (1) 入札保証金 : 免　除
   (2) 契約保証金 : 免　除
   (3) 違約金 : 落札者が契約締結に応じない場合は、落札価格の100分の5以上、契約者が契約を履行しない場合は、契約金額の100分の10以上を違約金として徴収する。

6. 入札の無効
   (1) 第2項で示した競争に参加する者に必要な資格を有しない者のした入札
   (2) 入札に関する条項に違反した入札
   (3) 入札金額、入札者の氏名及び押印された印影が判別し難い入札

7. 契約書の作成
   作成しない。

8. 落札の決定方式
   総　額 (税込み)
   総額が予定価格の範囲内で最低の価格をもって申込をしたものを落札者とする。
   なお、落札となるべき同価の入札をした者が2人以上ある場合は、同額抽選票により落札者を決定する。

9. その他
   (1) 郵便による入札については、入札開始時間の1時間前担当者必着分までを有効とする。
   (2) 電報・電話等による入札は認めない。
   (3) 入札書に記載する金額は税込みとする。
   (4) 入札に参加する者は、入札日前日までに資格決定通知書の写しを提出すること。(FAX可)
   (5) 代表者以外での入札については、入札までに委任状を提出すること。
   (6) 入札及び契約に関する詳細は、入札及び契約心得を閲覧されたい。
   (7) 市価調査等依頼の場合は協力をお願いします。
   (8) 入札に関する事項の問い合わせ先
      中央会計隊契約科　(電話 03－3268－3111 内線47566)
      (FAX 03－5269－5135)　担当: 桐原

陸上自衛隊仕様書

銀杯（純銀製）及び附属品一式 並びに紙筒	陸上自衛隊中央業務支援隊	
	要求番号	
	作成年月日	平成２４年１２月５日
	作成部隊等	陸幕人事部人事計画課

1.　総則

1.1　適用範囲　この仕様書は、陸上幕僚監部人事部服務室において使用する銀杯（純銀製）及び附属品一式並びに紙筒について規定する。

2.　一般的事項　この仕様書に規定していない事項は、製造者の規定する仕様及び社内規格並びに一般商慣習による。

3.　銀杯（純銀製）及び附属品一式の仕様

3.1　構成　構成は次に示すものをもって１組とする。

a)　銀杯・・・・・・・・・１個

b)　桐箱・・・・・・・・・１個

c)　附属品・・・・・・・・１式

3.2　材料等　材料等は次に示すとおりとする。

区分		材料	形状寸法等	備考
銀杯		総銀ＪＩＳH2141	別紙第1のとおり。	
桐箱		柾目桐	別紙第2のとおり。	
附属品	杯たて	ラワン材	〃	
	ふくさ	ベンベルグタフタと同等若しくはそれ以上	280mm× 280mm 許容差３% 二重に合わされたもの	
	エアパッキン	ビニール又はポリエチレン	見本のとおり。	
	のし紙	奉書紙	別紙第３のとおり。	
	包装箱	コート紙Ｌ版及び目ボール 31～39.5kg	別紙第４のとおり。	
	銀杯取扱説明書	上質紙B列本版 55kg又はそれ以上	別紙第5のとおり。	

3.3　加工方法等

a)　銀杯の加工方法は、プレス加工とし、皿部と高台一体成形又は接着方式仕上げとする。

b)　銀杯の表面は、梨地仕上げとし、中央部五七の桐の紋章を型打ちし、その部分に金差しメッキ（ＪＩＳＨ８６２２　１８ＫＡＧＭＩ以上）を施すものとする。

c)　銀杯の裏面は、磨き仕上げとし、光沢が均一なものとする。

d)　桐箱の表面は、目止め仕上げとする。

3.4　文字

a)　銀杯の裏面に別紙第１のとおり刻み込むものとする。

b)　桐箱のふたは、別紙第２のとおり金箔押しとする。

3.5　品質保証

a)　**認定**　銀杯について、独立法人造幣局純度検定試験を受け、銀杯の裏面に別紙第１のとおり印を刻印しなければならない。

b)　**検査**　検査は、分任支出負担行為担当官の定める検査実施要領に基づき実施する。

3.6　包装、梱包及び輸送条件

a)　**内装**　ふくさ及びエアパッキンで銀杯を包み、桐箱に入れるものとする。

b)　**外装**　内装したものを、別紙第４のとおり梱包した後、商慣習による包装を行うものとする。

c)　**輸送方法**　貴重品扱いとする。

3.7 その他

a)　銀杯の取扱説明書を各個に添付するものとする。

b)　契約の相手方は、製作に先立ち承認用見本を分任支出負担行為担当官に提出し、外観及び形状等について承認を受けるものとする。ただし、特に指定する場合を除き契約の相手方が同一品目の契約実績があり、仕様が変更されていない場合は、省略することができる。

4.　紙筒の仕様

4.1　規格　既製紙筒で賞状入用　直径４７mm　長さ３６０mm
許容差２±mm　ワニ型ウルシのものとする。

4.2　箔押し　別紙第６のとおり金箔押しするものとする。

4.3　包装及び梱包　一般商慣習によるものとする。

5.　その他

この仕様書の内容に関し疑義を生じた場合は、分任支出負担行為担当官と協議するものとする。

別紙第１

形状及び寸法（許容差0.5㎜）

表

板厚（皿部）	見本の厚さを参照
（高台）	1.0㎜以上
重　　量	64ｇ以上

裏

板厚（ふ　た）	7 ㎜
（　箱　）	〃
（杯立て）	10 ㎜

別紙第３

永年勤続者表彰記念

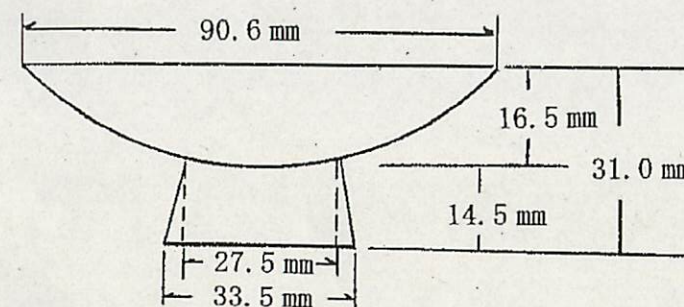
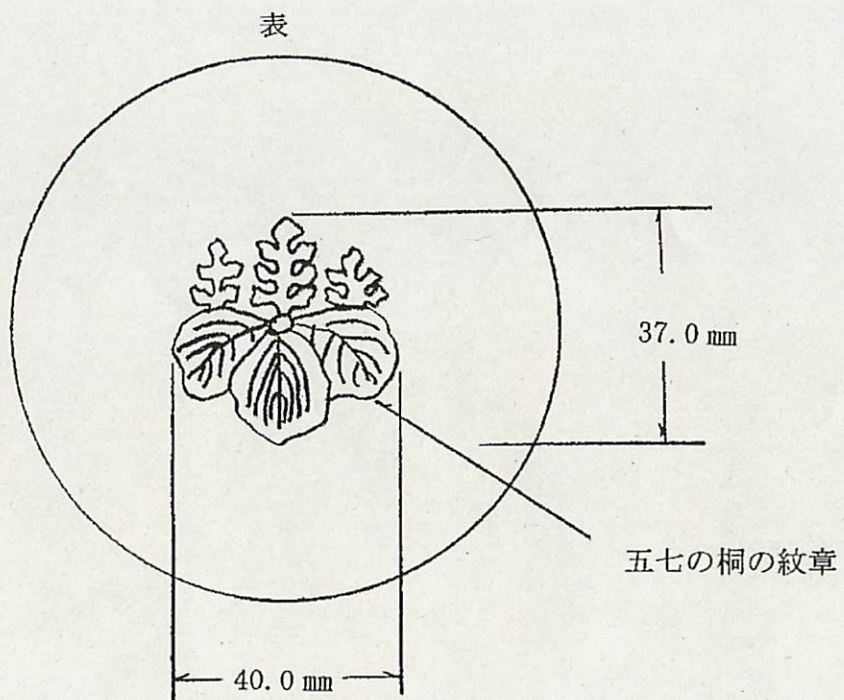
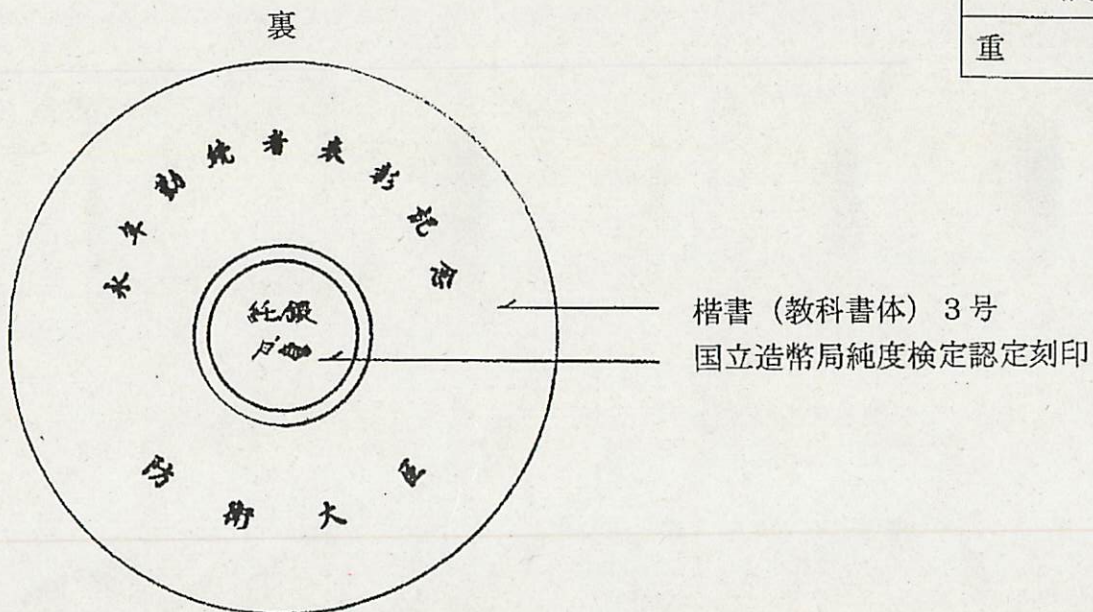
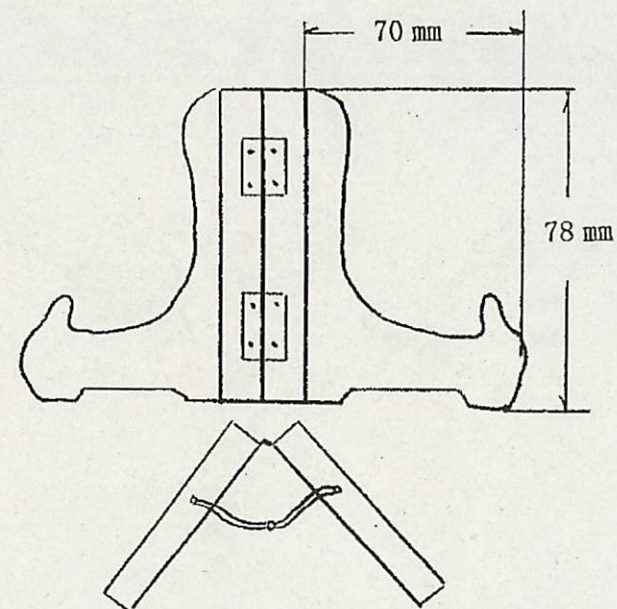
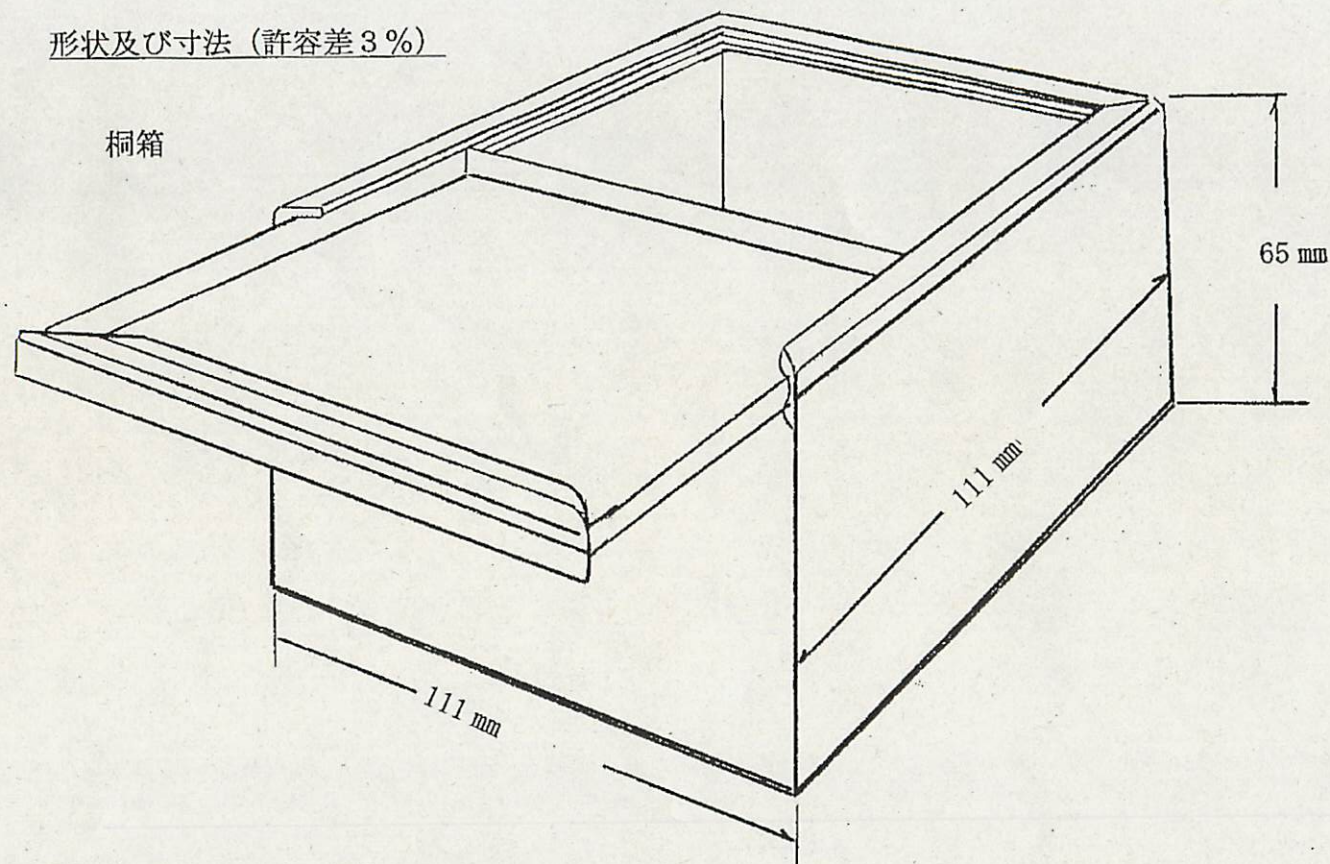
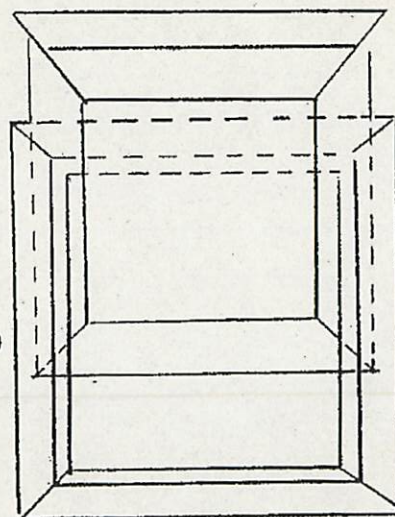
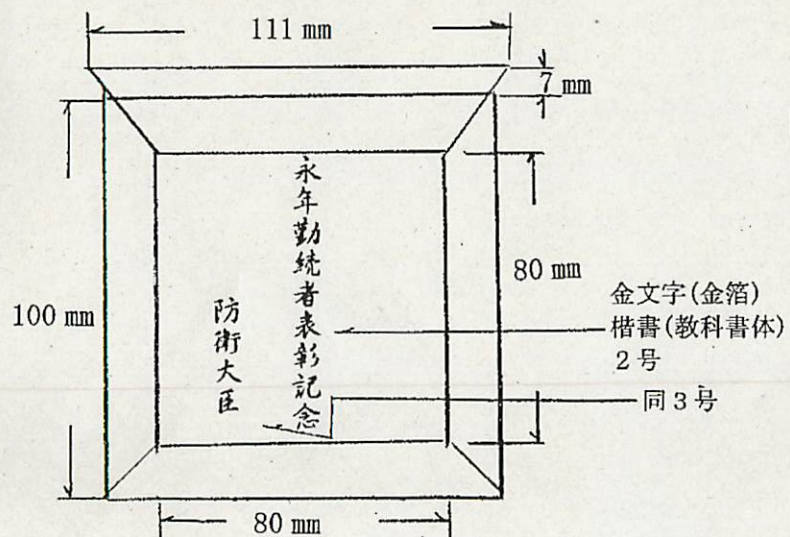
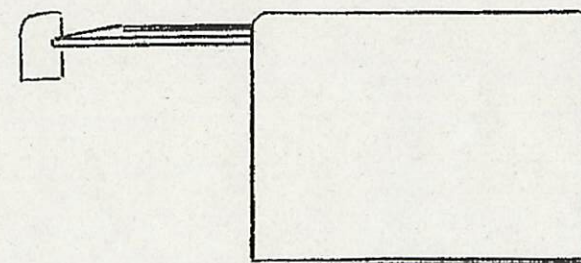
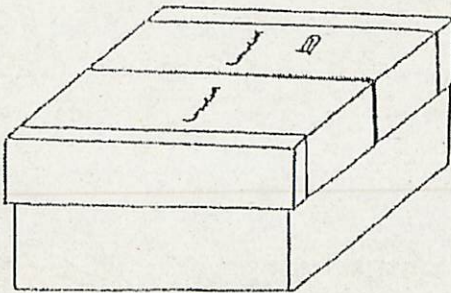
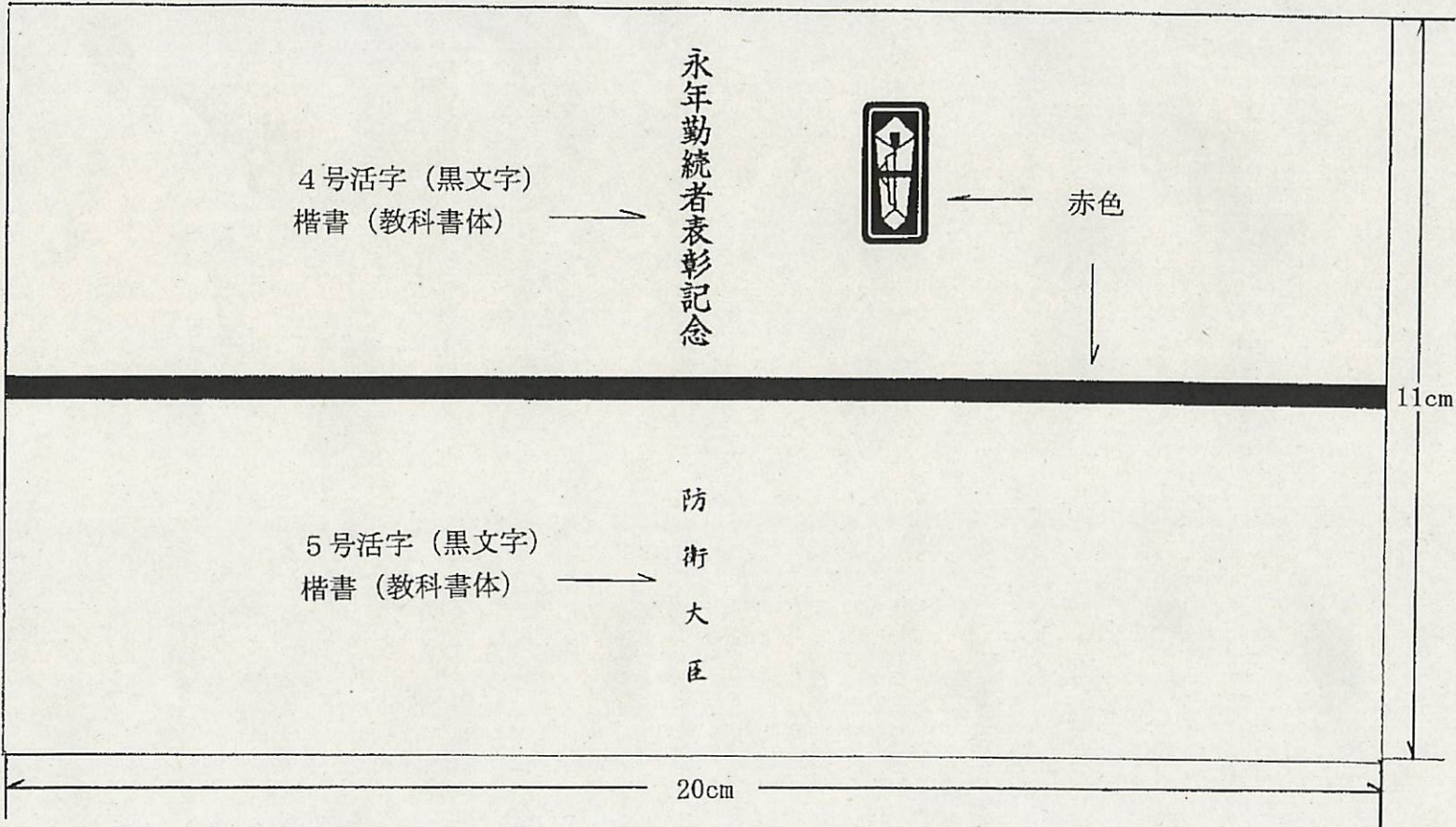
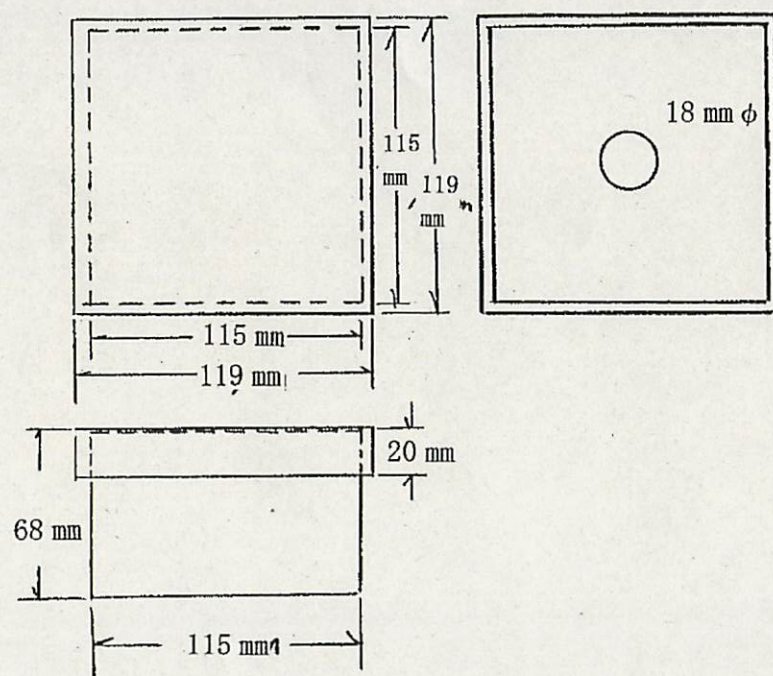
４号活字（黒文字）
楷書（教科書体）

赤色

11cm

防衛大臣

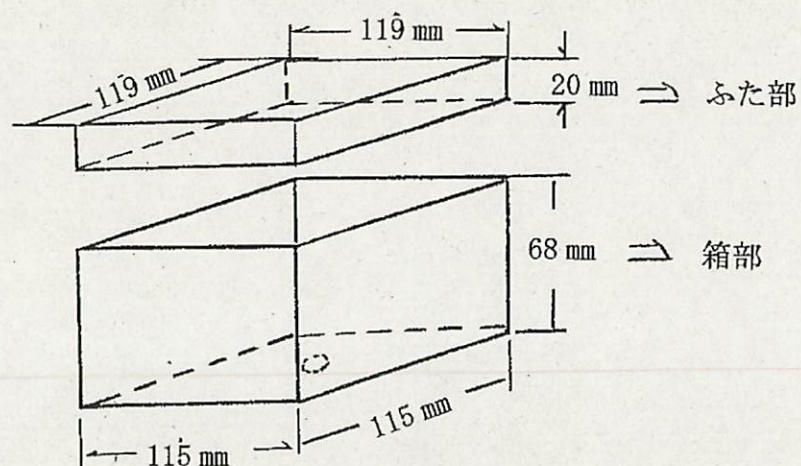
５号活字（黒文字）
楷書（教科書体）

20cm

包装箱

形状及び寸法（許容±３％）

1　この箱は、銀杯入りの桐箱を収めるものである。

2　箱の底部には、内部の桐箱を出し易くするために穴を１個あける。

3　箱の組立は、目ボールの上にコート紙を貼って止める。

銀杯取扱説明書

活字及び文面見本（実物大）

銀盃のお手入れと保存について

一、銀盃に直接手を触れぬよう注意して下さい。
もし触れた場合は乾いた軟かな布で空拭きして下さい。

二、一週間に二度程度乾いた軟かな布で空拭きすると、常に新品と同様な状態を保つことができます。

三、少々変色した場合は、次の要領でお手入れ下さい。

(一) 杯の裏面は、金属磨き（市販品）か重曹をつけた軟かな布（脱脂綿でも可）で磨いた後、温湯と水で洗い落し、乾いた軟かな布で良く拭き取って下さい。

(二) 杯の表面（梨地仕上げをしてある）は、重曹をつけた軟かな布（脱脂綿でも可）で軽くたたくようにして磨いた後(一)の後段と同様に処置して下さい。

四、五・七の桐の部分は軟かな布で軽く磨くだけにして下さい。

五、銀製品は硫黄、ゴム、革等を嫌いますので、置き場所に留意して下さい。

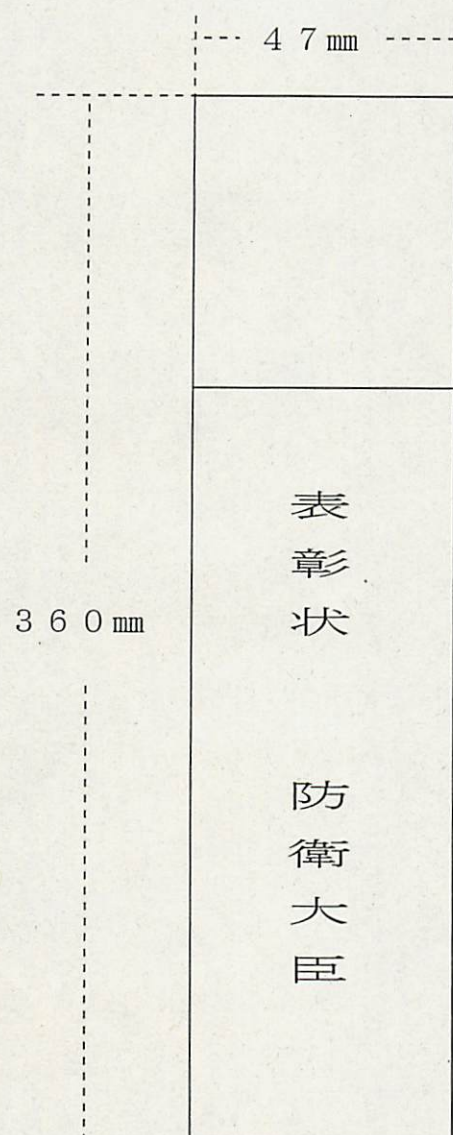
受注者住所
受注者名称
受注者電話番号

別紙第６

４７㎜

３６０㎜

表彰状

防衛大臣

文　字
金文字、ＭＳ明朝体・１号
とする。

直径４７㎜

入 札 書

分任支出負担行為担当官
陸上自衛隊中央会計隊
契約科長 菅 谷 誠

殿

平成25年1月10日

住 所

会 社 名

代表者名

¥ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ (税込み)

上記の金額をもって入札及び契約心得の条項を承諾の上、入札します。

内 訳

品 名	規 格	数 量	単位	単 価	金 額
銀杯(純銀製)及び附属品一式並びに紙筒	仕様書のとおり	80	組		
	以下余白				
合 計					